



令和6年度

仁比山っ子

神崎市立仁比山小学校
学校だより No. 61

令和6年度11号

令和6年7月8日

文責：校長 秋吉 洋志

仁比山っ子の「寒」 まじめにこつこつ勉強する子

不易と流行の「不易」 ライバルは昨日の自分

神崎市の学校では、どのような時代になっても流行に左右されることなく、しっかりと基礎基本を身につけさせようと努力しています。

本校では朝のスキルタイムの目的の一つに計算力向上を掲げてます。

7月5日（金）は全校一斉に計算力の計測を行いました。一定量の計算問題を解くのにかかる時間と正確さを計ります。

前回の計測は、新年度になったばかりの4月26日でした。今回の計測の結果、ほぼ全員の伸びを確認することができました。2か月余りの間に、自分が伸びていることをしっかりと自覚し、学習に対する自信につなげさせていきたいと思えます。

計測のあとで子供たちに感想を尋ねたところ、「伸びていたのが嬉しかった」と胸を張って答えました。小さな感動の積み重ねが学習のエネルギーになりますね。



不易と流行の「流行」 時代に応じた学習も！

神崎中学校の先生から「仁比山出身の生徒は、パソコンのスキルがすばらしいです」とのお話を伺うことができました。本校ではスキルタイムの中でタブレットを使って学習するメニューも入れています。しかし、タブレットを使用するためにはパスワードを打ち込む必要があります。アルファベットや数字の組み合わせで一人一人違います。1年生にはかなりハードルが高い作業です。

そこで頼もしい6年生の登場です。少し前になりますが、1年生が初めてタブレットを使用する際に、6年生が横について個別にログインの仕方を教えました。大文字小文字に苦労しながらも1年生も自力でログインできるようになってきました。タブレットを使った学習もずいぶんスムーズにできるようになってきました。



10分×（学年＋1） 家庭学習の目安（最低ライン）の時間ですが…

神崎市では「10分×（学年＋1）」の家庭学習時間を設定しています。

昨年度末のアンケートで「家庭学習の時間を守って、自主学習していますか」の問いに、児童は86%が「はい」と応えています。一方、お家の方の「はい」は56%。大人の目からみたら、時間通りに家庭学習に取り組めていないお子さんも半数程いるようですね。

1年生…20分 2年生…30分 3年生…40分 4年生…50分 5年生…60分 6年生…70分
となります。特に土日の時間が少ないというデータが出ています。お子さんはいかがですか？